



平成24年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年4月6日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社サーラコーポレーション
コード番号 2734 URL <http://www.sala.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 神野吾郎

問合せ先責任者 (役職名) 広報・ブランドグループマネージャー (氏名) 奥田健

TEL 0532-51-1184

四半期報告書提出予定日 平成24年4月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年11月期第1四半期の連結業績(平成23年12月1日～平成24年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年11月期第1四半期	32,448	0.9	775	11.1	883	34.7	189	△55.0
23年11月期第1四半期	32,168	9.3	697	15.1	655	24.0	422	185.9

(注) 包括利益 24年11月期第1四半期 219百万円 (△55.2%) 23年11月期第1四半期 490百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年11月期第1四半期	4.94	—
23年11月期第1四半期	10.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年11月期第1四半期	99,950		26,644		25.5	
23年11月期	98,006		26,641		26.0	

(参考) 自己資本 24年11月期第1四半期 25,498百万円 23年11月期 25,462百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年11月期	—	5.00	—	5.00	10.00
24年11月期	—	—	—	—	—
24年11月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年11月期の連結業績予想(平成23年12月1日～平成24年11月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	72,000	3.8	1,700	13.9	1,750	14.0	650	△43.2	16.91
通期	140,000	6.8	1,800	99.5	1,800	64.5	650	20.0	16.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年11月期1Q	40,338,708 株	23年11月期	40,338,708 株
24年11月期1Q	1,890,489 株	23年11月期	1,888,985 株
24年11月期1Q	38,448,953 株	23年11月期1Q	38,453,103 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要などにより一部持ち直しの動きがみられましたが、欧州債務問題の深刻化に起因する世界経済の下振れや円高の定着、原油価格の高止まりなどの懸念もあり、先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループを取り巻く環境につきましては、個人消費や製造業を中心とする企業の設備投資が伸び悩む一方で、電力供給不安を背景に、環境、省エネルギー、安全・安心な暮らしへの関心が高まっています。

このような状況の中、当社グループは既存事業の強化と新分野への挑戦によりさらなる成長を目指す第4次中期経営計画（平成23年11月期～平成25年11月期）2年目の取り組みを推進しています。既存事業においては統合顧客システム、体験型ショールーム機能を持つ「サーラプラザ」を活用し、お客さまとの関係強化に努めました。新分野では、太陽光発電や家庭用燃料電池などの一貫した販売体制による環境商材を中心としたエネルギーの総合提案、グループ各社の強みを活かしたリフォーム提案に注力しました。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、主力のエネルギーサプライ&ソリューション事業の売上高は減少しましたが、エンジニアリング&メンテナンス事業において昨年7月に子会社化した㈱鈴木組の売上が加わり、カーライフサポート事業において輸入車販売が堅調であったことなどもあり、売上高は前年同期比0.9%増の32,448百万円、売上総利益は前年同期比1.4%増の7,801百万円となりました。販売費及び一般管理費は前年同期比0.4%増の7,025百万円となり、営業利益は前年同期比11.1%増の775百万円となりました。経常利益は持分法による投資利益の増加などにより、前年同期比34.7%増の883百万円となりました。四半期純利益は、税制改正による実効税率の引き下げを受け繰延税金資産の取り崩しを行い法人税等調整額に計上したことなどにより、前年同期比55.0%減の189百万円となりました。

セグメント別の概況は次のとおりです。

エネルギーサプライ&ソリューション事業

売上高17,791百万円（前年同期比1.0%減）、営業利益1,200百万円（前年同期比8.3%増）

主力となるLPガスは、家庭用・業務用の販売量が減少したことや工業用などの販売単価の下落により売上は減少しました。また石油製品の売上は原料価格の上昇に伴う販売価格の改定により増加したものの、全体の売上高は減少しました。利益面では、サーラプラザの減価償却費の減少や修繕費などの経費削減効果から、営業利益は増加しました。

エンジニアリング&メンテナンス事業

売上高4,867百万円（前年同期比2.9%増）、営業損失276百万円（前年同期は営業損失247百万円）

昨年子会社化した㈱鈴木組の売上が加わり、土木・建築分野を中心に完成工事が増えたため、売上高は増加しました。依然として厳しい受注環境が続く中、利益率は設備分野などで改善されましたが、土木分野で低下し、営業損失は拡大しました。

カーライフサポート事業

売上高3,156百万円（前年同期比11.3%増）、営業利益155百万円（前年同期比33.1%増）

輸入車販売部門では、前期より取り組んできたお客さまのニーズに合わせたきめ細かな営業活動により新車販売台数が増加し、販売単価も上昇しました。また中古車部門においても、新車販売に伴う下取り車の販売数が増えたことにより、全体の売上高、営業利益ともに増加しました。

アニマルヘルスケア事業

売上高4,970百万円（前年同期比1.5%増）、営業損失47百万円（前年同期は営業損失22百万円）

畜産分野では、畜産物市況の悪化に伴い動物用医薬品の売上が減少しました。ペット関連分野では、提案型営業活動に注力したことが奏功し、療法食を中心に販売が安定的に推移したことにより全体の売上高は増加しました。利益面では、退職金制度の変更により人件費が増加したことなどから、営業損失は拡大しました。

ホスピタリティ事業

売上高533百万円（前年同期比8.5%減）、営業損失118百万円（前年同期は営業損失123百万円）

宿泊部門やレストラン部門、宴会部門では、計画的な販促活動などにより売上は増加しましたが、ブライダル部門の挙式組数が前年を下回り、全体の売上高は減少しました。利益面では、業務効率化の推進や原価の低減などのコスト削減に努めた結果、営業損失は縮小しました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債、純資産の状況

(資産)

資産は99,950百万円と、前連結会計年度末と比較して1,943百万円増加しました。これは主に、「仕掛品」が未成工事支出金の増加などにより1,986百万円増加したこと、「現金及び預金」が786百万円増加したことに対し、「有形固定資産」が減価償却などにより463百万円減少したこと、「繰延税金資産」(流動資産及び固定資産)が496百万円減少したことによるものであります。

(負債)

負債は73,305百万円と、前連結会計年度末と比較して1,940百万円増加しました。これは主に、「短期借入金」が1,000百万円増加したこと、「支払手形及び買掛金」が981百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産は26,644百万円と、前連結会計年度末と比較して3百万円増加しました。これは主に、「利益剰余金」が、四半期純利益の計上により189百万円増加し、配当の実施により192百万円減少したこと、「その他有価証券評価差額金」が40百万円増加したこと、「少数株主持分」が32百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年11月期第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成24年1月12日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

(法人税率の変更等による影響)

「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」(平成23年法律第114号)及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」(平成23年法律第117号)が平成23年12月2日に公布され、平成24年4月1日以降に開始する連結会計年度より法人税率の引き下げ及び復興特別法人税の課税が行われることとなりました。

これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は、従来の39.6%から、平成24年12月1日に開始する連結会計年度から平成26年12月1日に開始する連結会計年度までに解消が見込まれる一時差異については37.0%に、平成27年12月1日に開始する連結会計年度以降に解消が見込まれる一時差異については34.7%に変更されます。

この税率変更により、繰延税金資産の金額(繰延税金負債の金額を控除した金額)は190百万円減少し、法人税等調整額は199百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,312	8,098
受取手形及び売掛金	19,142	19,270
商品及び製品	4,065	4,308
仕掛品	2,931	4,918
原材料及び貯蔵品	179	175
繰延税金資産	855	611
その他	3,831	3,630
貸倒引当金	△412	△376
流動資産合計	37,904	40,636
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	18,368	18,049
機械装置及び運搬具（純額）	2,294	2,234
導管（純額）	2,237	2,199
土地	22,602	22,600
建設仮勘定	21	45
その他（純額）	3,105	3,034
有形固定資産合計	48,629	48,165
無形固定資産		
のれん	695	648
その他	2,257	2,182
無形固定資産合計	2,952	2,831
投資その他の資産		
投資有価証券	3,544	3,634
長期貸付金	432	422
繰延税金資産	2,339	2,087
その他	2,510	2,482
貸倒引当金	△305	△309
投資その他の資産合計	8,520	8,317
固定資産合計	60,102	59,313
資産合計	98,006	99,950

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年2月29日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,832	15,814
短期借入金	17,150	18,150
1年内返済予定の長期借入金	5,020	5,104
未払法人税等	345	160
賞与引当金	1,303	988
役員賞与引当金	8	4
完成工事補償引当金	18	20
工事損失引当金	196	254
ポイント引当金	98	98
その他	7,500	8,238
流動負債合計	46,474	48,835
固定負債		
長期借入金	14,959	14,614
繰延税金負債	181	137
退職給付引当金	5,881	5,912
役員退職慰労引当金	481	447
修繕引当金	24	25
その他	3,363	3,333
固定負債合計	24,891	24,470
負債合計	71,365	73,305
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,025	8,025
資本剰余金	9,019	9,019
利益剰余金	9,229	9,225
自己株式	△951	△952
株主資本合計	25,322	25,318
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	140	180
その他の包括利益累計額合計	140	180
少数株主持分	1,178	1,146
純資産合計	26,641	26,644
負債純資産合計	98,006	99,950

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年2月29日)
売上高	32,168	32,448
売上原価	24,471	24,646
売上総利益	7,696	7,801
販売費及び一般管理費	6,998	7,025
営業利益	697	775
営業外収益		
受取利息	4	4
受取配当金	3	6
負ののれん償却額	0	0
持分法による投資利益	—	77
貸倒引当金戻入額	—	30
その他	90	99
営業外収益合計	99	218
営業外費用		
支払利息	111	100
持分法による投資損失	19	—
その他	9	11
営業外費用合計	141	111
経常利益	655	883
特別利益		
固定資産売却益	26	18
貸倒引当金戻入額	16	—
特別利益合計	42	18
特別損失		
固定資産除売却損	8	12
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	33	—
特別損失合計	42	12
税金等調整前四半期純利益	655	889
法人税、住民税及び事業税	123	252
法人税等調整額	95	457
法人税等合計	219	710
少数株主損益調整前四半期純利益	436	178
少数株主利益又は少数株主損失(△)	14	△10
四半期純利益	422	189

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年2月29日)
少数株主損益調整前四半期純利益	436	178
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	53	41
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△0
その他の包括利益合計	53	40
四半期包括利益	490	219
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	476	229
少数株主に係る四半期包括利益	13	△9

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年12月1日至平成23年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	エネルギー サプライ& ソリューション 事業	エンジニア リング&メ ンテナンス 事業	カーライフ サポート事 業	アニマルヘ ルスケア事 業	ホスピタリ ティ事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	17,968	4,728	2,835	4,895	583	31,012	1,155	32,168	—	32,168
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	352	295	15	0	9	673	236	909	△909	—
計	18,320	5,024	2,851	4,895	593	31,685	1,391	33,077	△909	32,168
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	1,108	△247	116	△22	△123	831	1	832	△134	697

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車部品製造、割賦販売及びリース等を含んでおります。
2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△134百万円には、セグメント間取引消去70百万円、全社費用△205百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 平成23年12月1日 至 平成24年2月29日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	エネルギー サプライ& ソリューション事業	エンジニア リング&メ ンテナンス 事業	カーライフ サポート事 業	アニマルヘ ルスケア事 業	ホスピタリ ティ事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	17,791	4,867	3,156	4,970	533	31,320	1,127	32,448	—	32,448
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	399	357	15	0	11	785	282	1,067	△1,067	—
計	18,191	5,225	3,172	4,971	545	32,106	1,410	33,516	△1,067	32,448
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	1,200	△276	155	△47	△118	912	19	932	△156	775

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車部品製造、割賦販売及びリース等を含んでおります。
2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△156百万円には、セグメント間取引消去53百万円、全社費用△209百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。